

■コメント

1. インフルエンザ

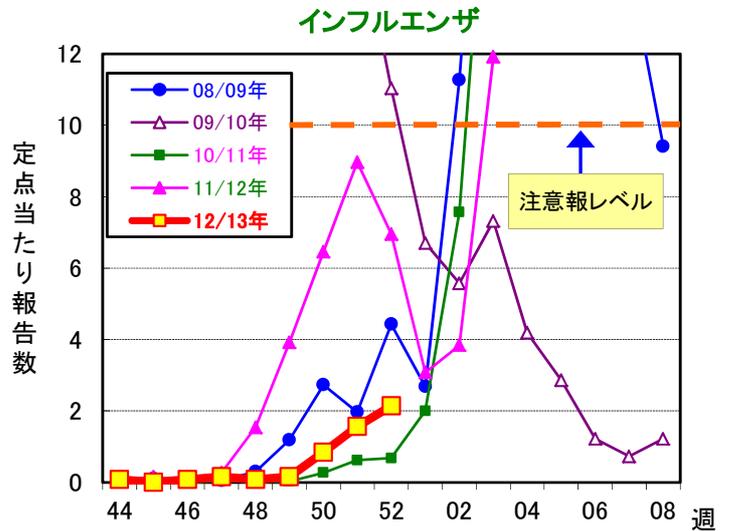
定点当たり2.14人と、前週と比べて1.4倍に増加しています。インフルエンザは、例年流行が始まると急激に患者が増加しますので、今後の動向に注意が必要です(次頁参照)。手洗い・うがいの励行など感染予防に心がけてください。

なお、市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が48人、B型陽性が12人報告されています。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり14.8人と、前週と比べて減少していますが、多い状態は続いていますので、注意が必要です。

なお、感染性胃腸炎の集団発生が6件(うち4件がノロウイルス)報告されています。集団生活の場では、手洗いの励行や、患者の便・吐物の適切な処理など、予防対策の徹底が特に重要です。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	79	2.14	6.50	↘	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.01	
咽頭結膜熱	4	0.17	0.21		流行性耳下腺炎	4	0.17	0.45	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.33	1.11	↘	RSウイルス感染症	17	0.71	1.56	↑
感染性胃腸炎	355	14.79	13.08	↘	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	33	1.38	2.38	↘	流行性角結膜炎	6	0.75	0.23	
手足口病	10	0.42	0.19		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.17		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	8	0.33	0.47		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.49	
百日咳	2	0.08	0.16		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	280	女性(20歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、女性(80歳代)・1人

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
		第48週	3	12	29	294	52	-	-	17	1	-	13	20	-	4	-	-	-	-
第49週	6	16	33	378	41	-	-	1	13	1	-	5	11	-	2	1	-	-	-	
第50週	31	6	40	654	62	1	-	5	6	-	14	15	-	4	-	-	-	3	-	
第51週	58	6	39	575	56	8	3	11	1	1	11	7	-	4	-	-	-	3	-	
第52週	79	4	32	355	33	10	-	8	2	1	4	17	-	6	-	-	-	2	-	
定点当たり	広島市	第48週	0.08	0.50	1.21	12.25	2.17	-	-	0.71	0.04	-	0.54	0.83	-	0.50	-	-	-	-
		第49週	0.16	0.67	1.38	15.75	1.71	-	0.04	0.54	0.04	-	0.21	0.46	-	0.25	0.14	-	-	-
		第50週	0.84	0.25	1.67	27.25	2.58	0.04	-	0.21	0.25	-	0.58	0.63	-	0.50	-	-	0.43	-
		第51週	1.57	0.25	1.63	23.96	2.33	0.33	0.13	0.46	0.04	0.04	0.46	0.29	-	0.50	-	-	0.43	-
		第52週	2.14	0.17	1.33	14.79	1.38	0.42	-	0.33	0.08	0.04	0.17	0.71	-	0.75	-	-	0.29	-
全国	第50週	1.17	0.45	2.03	19.23	2.11	0.42	0.05	0.49	0.01	0.04	0.34	1.28	0.01	0.63	0.01	0.03	1.07	0.03	
	第51週	2.23	0.48	2.20	17.00	2.16	0.36	0.05	0.47	0.02	0.05	0.37	1.34	0.01	0.63	0.02	0.03	0.94	0.04	

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	0	男	2012/11/23	糞便	ノロウイルスG2群
RSウイルス感染症	発熱(38.5) 気管支炎 肝機能障害 意識障害 血小板減少	4	男	2012/10/14	咽頭拭い液	ライノウイルス アデノウイルス4型
その他の呼吸器疾患	下血 嘔吐	0	女	2012/11/02	糞便	アデノウイルス31型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.5) 気管支炎	0	女	2012/11/20	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.7) 肺炎 嘔吐	8	男	2012/12/04	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス
その他の消化器疾患	発熱(38.0) 下痢	0	男	2012/10/14	糞便	アデノウイルス41型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】広島市におけるインフルエンザの流行開始からピークまでの期間

シーズン	流行開始時期 (定点当たり1.00人以上となった週)	ピークとなった週と その週の定点当たり報告数	流行開始から ピークまでの期間
2012/13	第51週 (12月17日~12月23日)		
2011/12	第48週 (11月28日~12月4日)	第5週 (1月30日~2月5日) 29.0人	9週間
2010/11	第1週 (1月3日~1月9日)	第5週 (1月31日~2月6日) 28.5人	4週間
2009/10	第34週 (8月17日~8月23日)	第48週 (11月23日~11月29日) 40.5人	14週間
2008/09	第49週 (12月1日~12月7日)	第5週 (1月26日~2月1日) 36.7人	8週間
2007/08	第47週 (11月19日~11月25日)	第51週 (12月17日~12月23日) 14.1人	4週間
2006/07	第3週 (1月15日~1月21日)	第11週 (3月12日~3月18日) 29.0人	8週間
2005/06	第49週 (12月5日~12月11日)	第4週 (1月23日~1月29日) 51.1人	7週間
2004/05	第3週 (1月17日~1月23日)	第8週 (2月21日~2月27日) 55.8人	5週間
2003/04	第3週 (1月12日~1月18日)	第6週 (2月2日~2月8日) 36.2人	3週間

インフルエンザ定点医療機関(市内37か所)からの報告数です。

2003/04シーズンから2011/12シーズンまでのシーズンの中で、流行開始の目安とされている定点当たり1.00人以上となった週からピークとなった週までの期間をみると、最も短かったのは2003/04シーズンの3週間、最も長かったのは2009/10シーズンの14週間で、平均すると6.0週間(2009/10シーズンを除く)となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2012年第52週(12月24日~12月30日)